

投稿規程

本誌の発刊主旨に適った「原著」「総説」「資料」「意見」「動向」「ニュース」「声の欄」などの原稿で、他誌（外国語を含む）に発表もしくは投稿していないものを募集いたします。投稿する場合は、どの種類のものとして掲載を希望するか明記してください。

「学会抄録」として日本精神科診断学会の抄録を掲載します。

投稿原稿は Microsoft WORD フォーマットにて日本語で作成し、編集委員会のメールアドレスあるいは住所にお送りください。

投稿原稿は著者名と著者所属を伏せて査読します。

原稿の記載方法

表紙には (1) 表題 (2) 著者全員の氏名 (3) 投稿時点の著者全員の所属と住所 (4) 連絡担当者の電話番号とメールアドレス (5) 英文表題 (6) 著者全員の英文著者名 (7) 筆頭著者（あるいは corresponding author）の英文所属と住所 (8) 投稿原稿の種類（「原著」「総説」など）を記載してください。

原稿 2 枚目に表題（あれば副題も）と要旨を記載してください。

要旨は 400 字以内で記載してください。要旨内では文献の引用をしないでください。英単語で 5 つ以内の Key words を英語で挙げてください。

原著論文は (1) はじめに (2) 方法 (3) 結果 (4) 考察 (5) 謝辞 (6) 文献 (7) 英文抄録 (8) 図表 の順に記載してください。倫理委員会の承認を得ている場合は明記してください。

文献の記載方法

American Psychological Association の Publication Manual (5th edition) に従います。

本文中の文献の引用

(例)

犬や猫における心因反応についてはこれまでいくつかの報告 (Dogwalker et al.,¹ 1974; Johnson, White, &² Kahn, 2001a, 2001b; 北村・南田・西崎・東山³, 2008; Lindehorn, 1991) があるが、操作的診断基準についてはほとんど研究が行われていなかった。従来、動物における心因反応についてはその存在を否定する意見が多かった (Johnson et al., 2001b, McDonald, 1983) が、Owen and⁴ O'Connor (2006)⁵ や Black, Green, and Purple (2002) はむしろその臨床的意義を強調している。また、Macmillan and Sheep (in press) はメタ分析を行い、動物種により心因反応が存在することを報告している。

文献欄の書式

著者のアルファベット順に並べます。通し番号は用いません。

¹ 6 人以上の著者名の文献を本文中に括弧に括って引用する場合、第 1 著者のみ記載し、以降は et al. とする。et al. は立体。et の後にフルストップ (.) はない。al. は alli の省略形であるためフルストップ (.) をつける。

² 本文中に括弧で括って引用する場合、複数著者の最後の著者名の前は & にする。

³ 本文中に和文で著者を引用する場合、著者名と別の著者名の間を全角ナカグロ (・) で分ける。

⁴ 本文中で直接文中に引用する場合、複数著者名の最後の著者名の前は and にする。第 1 著者の名前後にコンマ (,) をつけない。

⁵ 本文中で直接文中に引用する場合、著者名の直後に発行年を括弧で括って入れる。

文献欄の例：

- Black, D. K., Green, Y.⁶ T., &⁷ Purple, S. L. (2002). Cats' psychological reaction: A neglected diagnosis in animal psychiatry. In L. G. Simpson (Ed.) *Culture, food, and mental health of animal mental health*⁸ (3rd⁹ ed., pp. 477-489). Washington, DC: American Animal Press.
- Dodwalker, J. K., Catcarer, F. S., Snakelover, T. S., Horserider, W. F., Bullfighter, A. P., Sheepkeeper, H. K., et al.¹⁰ (1974). Do animals react to stressful life events? *British Journal of Animal Therapy*¹¹, 33¹², 241-256¹³.
- Johnson, J., White, B. M., & Kahn, K. G. (2001a¹⁴). Psychological reaction among animals: A¹⁵ review. *Journal of Animal Psychiatry*, 45, 104-115.
- Johnson, J., White, B. M., & Kahn, K. G. (2001b). Psychological reaction: Does¹⁶ it exist among dogs and cats? *International Journal of Animal Psychology and Psychiatry*, 33, 1125-1133.
- 北村 俊則¹⁷, 南田 明, 西崎 幸助, 東山 新太郎 (2008). 柴犬と土佐犬における心因性精神疾患の疫学的研究, 日本動物精神病理学会誌¹⁸, 104¹⁹, 2213-2219.
- Lindenhorn, B. S. (1991). Psychological reaction in dogs and its relationship with the personality of their carers. *American Journal of Pets' Mental Health*, 41, 555-567.
- Macmillan, O. S., &²⁰ Sheep, A. C. (in press²¹). Hysterical reactions among animals: A meta-analysis. *International Journal of Animal Psychology and Psychiatry*.
- McDonald, K. L. (1983). Hamburger shops for pet lovers in America. *American Journal of Pet Lovers*, 12, 558-559.
- Owen, T., & O'Connor, Q. (2006). *Comprehensive textbook of animal psychiatry: Diagnosis, treatment, and care ethics*. Hillsdale, NJ: Kennels and Stables.

図表

表は EXCEL でなく、WORD の表作成をお願いします。

図は POWERPOINT で作ったものはサイズにご注意ください。また刷り上りはモノクロームのため、カラー版は避けてください。

図表ともに、他の出版物からの引用をする場合は、著者自ら許諾をお取りください。

⁶ イニシャルが2つ以上ある場合は、1ブランクである。

⁷ 文献欄で複数の著者名がある場合、最終著者名の直前に & を入れる。& の前にはコンマ (,) があることに注意。

⁸ 文献欄で書籍の1章を引用する場合、書籍名は斜体。

⁹ 改訂版の版数の数字の 1st 2nd 3rd などとし、1st 2nd 3rd のように上付きにはしない。

¹⁰ 文献欄で7名以上の著者名があれば、最初の6名までを記載し、以下、et al. とする。et al. は立体。et の後にフルストップ (.) はない。al. は alli の省略形であるためフルストップ (.) をつける。

¹¹ 英文雑誌名は省略せず、かつ斜体。

¹² 雑誌巻数は斜体。

¹³ 雑誌論文は開始頁と終了頁を記載。1頁だけの論文は 例 1478-1478

¹⁴ 著者全員が同一でかつ発行年が同一の複数の文献を文献欄に挙げる場合は、年の後に小文字アルファベットを a から振って区分けする。

¹⁵ 論文副題の文頭は大文字にする。

¹⁶ 論文標題に副題がある場合、副題の始めを大見字表記する。また、副題の前は英数半角のセミコロン (:) とする。

¹⁷ 和文著者名の姓と名の間は英数半角の1ブランクを設ける。

¹⁸ 和文雑誌は立体とする。

¹⁹ 和文雑誌の巻数は斜体とする。

²⁰ 文献欄で2名著者については & で結び、& の前にコンマ (,) をつける。

²¹ 受理されているがまだ発行されていない文献については、年の代わりに in press とする。

編集委員会

上原 徹 内山 真 塩入 俊樹 (委員長)
庄野 昌博 渡辺 範雄